ぶんだい再発見! vol.1 Endeavor Series

卒業生が見た「ぶんだい」

大分瓦斯株式会社 総務部部長代理 河野（かわの） 聡（さとし）氏

昭和63年大分大学工学部化学環境工学科（現応用化学科）卒業

大分大学を卒業され、社会の第一線でご活躍中の卒業生に、在学中に感じていた大分大学や、現在の大分大学について、卒業生が見た「ぶんだい」というテーマでお話をお聞きしました。

お話し頂くのは、本学工学部化学環境工学科（平成4年4月応用化学科に改組）を昭和63年に卒業され、大分瓦斯株式会社に勤務の河野聡さんです。

大学院工学研究科応用化学専攻1年
角 憲祐さん

工学部応用化学科4年
伊延 かなえさん

角君です

「ぶんだい」のさらなる社会貢献を期待しています。

大分別府で見かける丸い大きなガスタンクは絶対安全です。

角　河野さんのお勧めになる大分瓦斯（以下「ガス」と表示）株式会社の会社概要を教えてください。

河野　大分ガスという会社は都市ガスを製造してご家庭に送っている会社です。ご家庭で使うガスには大きく分けて2種類ありまして、一つは都市ガス、一つはプロパンガスです。簡単に違いを説明すると、送る方法がまず違います。プロパンガスはご家庭ごとにボンベを置いていますが、都市ガスでは水道と同じように道路の中にガス管が埋まっていて、いつでもガスを使うことが出来ます。だから都市ガスは24時間ガスが使える様に、我が社の工場では24時間体制でガスを製造しています。

それと成分が違います。都市ガスは空気より軽いですが、プロパンガスは重くて下に沈みます。

近年は地球環境に配慮した取り組みがあちゆる所で求められていますが、大分ガスも、例えばガスの転換（平成15年4月から平成17年2月まで、石油系のガスから天然ガスに転換した）によりCO²の削減を図ったり、ガスで発電する商品を販売したりしています。

伊延　小さいときからガスタンクの前を通るたびに「爆発したらどうしよう!?」と思ってました（実は今も思ってます…）。（笑）

河野　怪獣映画の崩れのシーンでは必ずガスタンク[illegible]ね（笑）。でも、ガス[illegible]日"頑丈に作られて[illegible]壊れなかったんですよ。だから安心してください（笑）。

河野　ところで、お二人のご出身はどちらですか。

角　私は北九州の出身です。

伊延　私は大分の出身で、大分舞鶴高校卒業です。

河野　えっ！私も舞鶴高校ですよ。しかもお二人は「応用科学科」に属もゆかりもある学生さんと聞いていますが。

角・伊延　はい。河野さんは私たちの実の先輩ですね。（笑）

スイングブラザーズでトランペットを吹いてました。

伊延　河野さんが大分大学を志望された理由は何ですか。

河野　高校生のときに、理系か文系かと言うと理系で、「化学」が、毎度ではなかったけれども好きだったんです。進学するにあたって、色んな大学を見ましたが、大分にも国立の立派な大学「大分大学」があるぞと、いうことと地元志向が強かったので大分大学に決めました。

私は共通一次試験を受けて、二次試験も一回勝負でしたが、今は入試制度も変わって、大学入試センター試験って言ったり、2次試験（個別学力検査）も前期とか後期とかに分かれているらしいですね。

それと当時は学科名が今の「応用化学科」ではなくて「化学環境工学科」と言ってました。名前が変わって、研究内容も幅広くなったと聞いています。私が学生の頃は、今の羽野君学長が微生物でいらっしゃって、微生物の排水処理なんかをやってらしたと記憶してます。今でも、時々大学に行きますが、工学部周辺の建物も増えて、変わったなぁと感じます。

角　大学の頃はどんな学生だったんですか。

河野　広報誌に掲載されるので、ウソを言うと羽野学長や瀧田先生にすぐにばれますから本当のことを話しますが（笑）勉強はあまりしなかったですね。逆の意味で先生からすぐ覚えられる、という学生でして、真面目かどうかって言われたら「いやぁ…」河野君はちょっと…」という感じでした。（笑）

伊延　スイングブラザーズは、今も活動していますよ。

河野　やり始めたら、結構のめりこんでしまいました。それまでジャズなんて全く知らなかったのに、同期の仲間10何人とワイワイガヤガヤ楽しんでました。

角　印象に残ってる事はありますか。

河野　スイングブラザーズで3年生の時だったかな、ビッグバンドコンテストの九州大会で3位になったんです。結果もさることながら、大会に向けての猛特訓や先輩後輩と肩で力をあわせてやった、という事が嬉しかったですね。

それと、ゼミですね。ゼミを決めるとき有機より無機の方が好きだったこともあり、瀧田祐作先生のゼミの門を叩きました。ここで瀧田先生との出会いがあったことが印象に残っていることの一つだと言えます。地元に就職したこともあって、瀧田先生や羽野学長には今も大変お世話になっています。

就職して、研究部門に3年間ほどいたんですが、その間も瀧田先生と一緒に研究開発を行ったりしました。

何か一つ「やった」と言えるものを作って!

角　これから大学進学を目指す方へのメッセージをお願いします

河野　大学選びっていうのは人それぞれ状況も違うし、一概には言えない部分が大きいんですが、自分のやりたい事に夢を持って進んで欲しいな、と思います。

角　河野さんの夢は何だったんですか

河野　私は化学が好きだったんで、化学に携わることの出来る仕事に就きたいということでした。夢がかなってますね。（笑）

伊延　在学生へのメッセージを。

河野　私は、現在、仕事で人事の採用業務も行ってます。そんな中で学生さんに良く言うことは、何でも良いので一つ「学生時代にこれをやった」と言えるものを作って欲しい、という事です。それは勉強でも良いし、サークル活動でもアルバイトでも何でも良いと思います。一つ自分はこれをやった、と心に持って卒業されると社会に出た時に出会う様々な記憶にも対処できるんです。人に言う必要はありません。言うと自慢になりますから、でも自分の中にしっかりそれを持って欲しいと思います。それは、人の役にはたちませんが、きっと自分の役には立ちますから。

伊延　今後のパルプ[illegible]

河野　難しい質問ですね。言と通って、社会が大学に求める役割が変わって来ていると思うんです。特に大学の法人化後言われていることは、「教育」「研究」だけではなく「社会貢献」を求められているんですね。大分大学は地域共同研究センターを立ち上げたり、事務部門にも研究・社会連携係を作ったりと、間に社会に対しての貢献は行って来ているのは存じていますし、我々の様に地場の企業からすれば、自分達で出来ない部分を大学がやってくれるという意味で大分大学が頼れる存在になっていますが、今後さらに社会への貢献を行って頂く様期待しています。

角・伊延　今日はありがとうございました。[illegible]先輩!

大分ガス本社で、河野先輩と記念撮影